

## 抗血小板薬、抗凝固薬(血液を固まりにくくする薬)を服用中の患者さまへ

心臓病や脳血管障害、慢性の動脈閉塞症などで治療中の方は、血栓ができるのを予防するために、血を固まりにくくするお薬を飲んでいることがあります。

このようなお薬を飲んでいる方が内視鏡検査で、出血を伴う処置を受ける場合、あらかじめお薬を中止していただくことがあります。ただし、心臓病や脳血管障害、慢性の動脈閉塞症などの治療に必要なお薬であり、またお薬の種類によって中止する期間も違いますので、勝手に中止するのではなく必ず指示を受けて下さい。

参考:大腸内視鏡施行に当たって注意すべき抗凝固剤と血小板凝集抑制剤

日本消化器内視鏡学会、大腸内視鏡検査の偶発症防止のための指針、Gastroenterol. Endosc., 45(9), 1939~1945(2003) などから

一般名	代表商品名	検査前中止期間	検査後中止期間
ワルファリン	ワーファリン	3~4日	3~4日
タビガトラン	プラザキサ	2日間	
リバーロキサバン	イグザレルト	24時間以上	
アスピリン	バイアスピリン、バファリン81	7~10日	4~5日
チクロピジン	パナルジン	7~10日	4~5日
シロスタゾール	プレタール	3~4日	2~3日
クロピドグレル	プラビックス	14日間	
イコサペント酸	エパデール、ロトリガ	7~10日	2~3日
エドキサバン	リクシアナ	24時間	
ベラプロスト	プロサイリン、ドルナー	24時間	
リマプロスト	オパルモン、プロレナール	24時間	
サルポグレラート	アンプラーグ	24時間	
ジピリダモール	ペルサンチン	24時間	
オザグレル	カタクロット、キサンボン	24時間	
トラピジル	ロコルナール	24時間	
イブジラスト	ケタス	24時間	
ジラゼプ	コメリアン	24時間	

付記:術前中止期間、術後中止期間については一応の目安としてあげた。抗凝固剤に関してはトロンボテスト(TT)、プロトロンビン時間(PT)を参考に、投与量の調節を行う必要がある。